

[課題]

第2回課題 (1500字～2000字)

以下の2つの課題の中からいずれかを選んでレポートを作成して下さい。

② ユダヤ教, キリスト教, イスラム教の相違点を上げて, 述べなさい。

[本文]

ユダヤ教は、古代イスラエルの宗教を受け継ぐユダヤ人の宗教で、バビロン捕囚後のユダヤで成立したとされる。ユダヤ教は、ユダヤ人のものの考え方、生き方そのものとされている。ユダヤ教の教典は『律法・預言者・諸書』で、キリスト教では『旧約聖書』と読んでいる。特にモーセが定めたものとされる「創世記」「出エジプト記」「レビ記」「民数記」「申命記」が重んじられている。ユダヤ教では唯一神ヤーウエへの信仰と、この神が定めた律法を忠実に守ることを説く。ヤーウエは、正義によって天地万物を創造し歴史を導く主なる神とされる。¹

4世紀末に、キリスト教が盛んになるのに対抗して、4世紀末にユダヤ教独自の律法の解釈を定めた『タルムード』が作られ、広い地域に散らばったユダヤ人をつなぐよりどころとされた。ユダヤ教の信者は、毎週金曜日の日没から土曜日の夕方までを安息日とし、一切の仕事を離れて過ごす。新年の祭りや出エジプトを記念する過越祭りを始めとした祭礼を重んじる。また、食物についての厳しい禁忌があり、屠殺の方法や調理法も細かく規定されている。ユダヤ教は地中海沿岸のイスラエルで暮らすユダヤ人の日常生活を導く現実に即した宗教であったため、哲学的な思考や神学はあまり発達せず、ユダヤ人の社会の外へ布教することもあまりなかった。²

キリスト教は、紀元1世紀初頭、ローマ支配下のユダヤで、イエス・キリストによって開かれた。当初は、預言者であるイエスを信奉するだけで、ユダヤ教と大きな相違はなかった。しかし、1世紀半ばに、エルサレムの教会の内部で律法の解釈について、保守的な人々と自由な立場を主張する人びとが対立するようになった。自由な解釈を唱える人々はユダヤ社会と結びついた律法よりも、イエス・キリストの福音を信仰の中心に置くようになった。³

4世紀末には、神がイスラエルの民と結んだ契約を記した『旧約聖書』に加え、全人類に対して新しい契約を結んだとする『新約聖書』が教典に加わった。この『新約聖書』は4つの福音書とパウロの手紙やヨハネの黙示録で構成されており、イエスが待望されていたメシアであり、ユダヤ人だけでなく、すべての人間の主であることを証言している。ユダヤ教と異なり、キリスト教はヨーロッパ文化の基礎を築き、修道会を基盤として大学が生まれ、神学の発達をもたらした。古代のアウグスティヌスや中世のトマス・アキナスらによって、キリスト教思想の体系化が果たされた。しかし、キリスト教の布教地域が拡大するにつれて、こうした思想の体系化は分裂ももたらし、東方正教会やプロテスタントなどが誕生し、宗教戦争を経て、別宗教とでもいってよいほど、信仰そのものに大きな懸隔が生まれるようになった。

イスラム教は、7世紀初めに、アラビアの部族宗教を基盤として、ムハンマドによって開かれた。ムハンマドはユダヤ教やキリスト教と同じく、夢の中で天使より、自らが神の使徒、預言者であると告げられ、アラーへの信仰を説き始めた。

イスラムはアラビア語で「神への帰依」を意味する。ユダヤ教やキリスト教よりも新しい宗教であり、教えの要点もコンパクトに整理されている。信じるべきことは「神」「天使」「使徒」「啓典」「来世」「定命」の「六信」である。使徒にはムハンマドのみならず、旧約のモーセや新約のイエスなども含まれ、啓典にはコーランだけでなく、旧約の律法や新約の福音書なども含まれる。イスラム教ではユダヤ教やキリスト教を同じ神から啓示された教典を持つ「啓典の民」とよび、それ以外の宗教と区別して尊重した。

また、ユダヤ教に見られた複雑な律法も整理され、「信仰告白」「礼拝」「喜捨」「断食」「巡礼」の「五行」にまとめられている。ムハンマドの死後、神の啓示をまとめた「コーラン」やイスラム共同体を維持するための法律の役割を果たす「シャリーア」も定められた。⁴

イスラム教は神学・法学については多数の学派があるが、極めて統一性の強い宗教で、日常の儀礼では、世界のどの地域でも、同一の行動が行われている。また、信者は民族、人種、階級、貧富の区別を超えて平等とされ、お互いに強い連帯感で結ばれている。⁵

イスラム教はいわば「マニュアル型宗教」で、わかりやすいことが特徴である。キリスト教の特に父と子と精霊の一体性というのは神学論争が起きるほど分かりにくい。一方、イスラム教では神は1つで、ムハンマドはただの人間であって、ムハンマドに預けられた神の言葉を実践するだけでよいというシンプルなもの、ユダヤ教やキリスト教を超えた普遍性を有している。⁶

文字数：1972字

<引用・参考文献>

¹ 村上重良『世界の宗教』（岩波ジュニア新書：14 岩波書店、1980、pp.128-129 参考。

² 同上、pp.130 参考。

³ 同上、pp.140 参考。

⁴ 中村圭志『ビジュアルでわかるはじめての〈宗教〉入門』河出書房新社、2023、pp.78-80 参考。

⁵ 村上重良前掲書、pp.189-190 参考。

⁶ 池上彰『池上彰の宗教がわかれば世界が見える』文藝春秋、2011、pp.238-239 参考。